



カトリック町田教会  
町田市中町 3-2-1  
電話 042-722-4504  
FAX 042-722-4512

### いかずちの子

<http://www.machida-catholic.jp/>



学者たちはその室を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。かれらはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。 マタイ2.10-11

## 落ち葉

主任司祭 小池 亮 太

秋も深まり、木々が葉を落とすと、木の向こうに今まで見えなかったものが見えて、ハツとさせられることがあります。そして、足元に目を向ければ、それらの木が落とした葉がたくさん積もっています。

落ち葉 と言っても、その美しさ、色や形は木によって様々です。銀杏の木のように黄金色に輝きながら、しっ

とりと降り積もる落ち葉もあれば、樺や栗のように茶色く乾いていて、風に吹かれてカサカサと音を立てるものもあります。柿や桜のように、その葉ごとに赤、黄、緑が混ざり合い、一枚一枚表情が違うものもあります。また、この季節に軽井沢や日光などで、薄黄色の唐松の落ち葉が雪のように音もなく降りかかる中を歩いていると、不思議と心

が穏やかになってゆきます。ところで、木は自分に必要ないものを葉の中に貯めておき、葉を落とすことで、それを自分の外に捨てているそうです。落ちる直前に、その葉がなぜ綺麗な色になるのか、特に赤くなる理由は分かっています。しかし、木が必要のないものとして捨てている落ち葉が、人の目には美しく見えるのは不思議です。

また、必要ないものとして木が落とした落ち葉が、その木にとって、実はとても大切なものであるのも不思議です。木の葉には、その木と相性の良い糸状菌、酵母菌、様々な微生物がくっついていきます。その微生物たちは、落ち葉を分解して、木が成長するために必要な栄養を作ります。また、微生物は落ち葉を分解する時に抗菌物質も作り出すので、木は病気になりにくくなるそうです。そして、木の周りに積もった落ち葉は、降ってくる雨を受け止めて根元の土が流れることを防ぎ、同時に、木に必要な水分を蓄えます。

もしかしたら、人が「これは必要ない」、「これは間違えている」、「これは失敗だった」と判断して捨てた出来事は、神から見れば、落ち葉のように美しく、必要なものかも

知れませんが、すべての出来事は必要なものであり、人が捨てたものを、神は時間をかけてその人に必要なものに変えてゆくと、私は思うからです。その人に起きた出来事は、その人の一部であると言つて良いでしょう。ですから、自分に起きた出来事を、必要ない物として捨てたとしても、落ち葉を掃いて捨ててしまつたように、それを無かったことにしてしまわなければ、捨てられた出来事は、落ち葉のように、時間が経つにつれて、その人に必要なものに神によって変えられてゆくのではないのでしょうか。

人が捨て、神が変えたものは、その人が成長してゆくための大切な栄養になり、また、失敗を繰り返さないため、間違えを犯さないために必要なもの、つまり、その人を守るものにもなるでしょう。そして

## イタリアからみた日本

前町田教会司祭 田中 昇

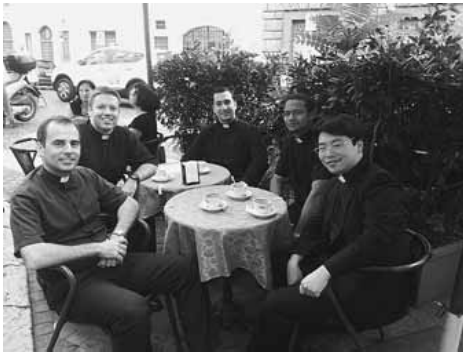
て、人が成長するために大切な土台を守り、その人が生きるために必要なものをその中に蓄えるものとなるのではないのでしょうか。

人生には喜び、悲しみ、苦しみ、幸せ、様々な出来事が次々と訪れます。その出来事の中には、「大切に必要なもの」として保ち続けられて、その人を支えるものもあるでしょう。しかし、「必要ない」、「持っていたくない」と捨ててしまつた出来事もありません。片付けてしまわなければ、それを神はその人を成長させるために必要なものへと変えてくれる。だから、人が捨ててしまつた出来事も、神の目から見れば美しく大切な落ち葉のようなものではないのか……そのようなことを考えながら、秋の青く澄んだ高い空の下を、木が落とした葉を踏みしめながら歩いたのでした。

先ずはじめに、イタリアの社会事情から話を始めたいと思います。イタリアでは、一般的なスーパーなどのお店は、ローマでさえも平日の朝と夕方しか開きません。それに会社勤めの人も朝から夜まで働きづくめではなく、できる限

り昼は家に帰って食事をして長い昼休みをとり、夕方また働き、夜は夜で家族や友人と楽しむ時間をもちます。またバカンスとなると、半月や一カ月は平気で遊びに出かけてしまします。おまけに自分達の立場を主張する姿勢は、ス





トライキをよくやる習慣にも見られます。ただ、みんなこうした社会事情を当たり前のようにならざるを得ない文句を言いません。

つまりイタリアでは、個人がどのように自分の人生を生きようとしているかということがとても大切にされます。あくまで人は各人が他者との関係の中にあつて、それぞれの人生を楽しむために学び、働き、遊び、食べ、助け、愛し合うのだといった感覚が社会の根底にあります。私は当初、イタリアという所はみんな好き勝手にやる迷惑な社会のようにも思っていました。しかし面白いことに、この感覚は社会の共通善を無視したり他者を軽視して自分の勝手をやつてよいというものではなく、互いの生き方、主張を認め合おうという態度なのだ

と今は感じています。

ここから日本社会のことを考えると、教育水準や社会制度、一般的な道徳観念など、他の国に比べて優れていると思ふ面もあります。しかしその反面、社会制度や社会の価値観等によって、人間の尊厳そのものが軽視されている気がします。実際、イタリアで日本の自死者の数の多さについて話すと、大概の外国人は、日本という国は経済や科学の成長維持のために大いに人間の尊厳を犠牲にしていると思われるので高い評価はできないと言われます。

そこで、日本のキリスト者の課題について思うのです。私たちは社会の制度や価値観を教会に持ち込むのではなく、時に辛いことの方が多い人生を信仰によって喜びをもって生きようとしているか、あるいはキリストの教えている価値観、人間の尊厳にこそ生きる希望、信頼を置いて、隣人愛を実践しようとするか、としているか、社会における私たちの信仰生活の本質的な有様が問われている気がします。兎にも角にも私たちの生き方そのものが、日本社会にとってより福音的なものとなりますように、私たちの回心の恵みをいつも願いたいものだと思います。

# イストルポ 典礼の花

**イストルポ**

1/25 (金) PM1~4時「典礼の花」(教会に生ける花の係)をイストルポ(池永) この日はクリスマスの準備中! いつもは木・金に片づける土曜日に新しい花に。2か月に1度木曜日にメンバーが集う。(連絡会) 神父の典礼のお話も……

神父の語、典礼、祝日の福音に合わせ心にこめられたものを 抽象・具象的表現

高尾さん

三位一体を表現

王(ストレチア)

「王であるキリスト」 典礼にそって表現 主日の福音から「心」にこめられたものを表現

左は悪、枯れ枝、黒い器

白ネーション(29/12/31~32/1/1)

坂井美鈴さん

結城さん

佐藤玲子さん(会計)

村松さん

鳥本さん

毎年このときだけポランド式?! 参加個人のツリを提供!

佐藤 エルゴジエータさん

1/25日以降、馬小屋セットを飾り お花はお休み 次の年の1月8日の主の公現まで

教会正面に飾るリース

アドベント・フランツ (待降節) (花環、冠の意味)

クリスマスは 4ヶ月前の日曜からクリスマスまで、4本のローソクを立て、日曜ごとに1本ずつ点火

私をハッピー! こんばんは幸せなこと沢山の方に参加して頂きたい!

リースの材料に

クリスマスは 4ヶ月前の日曜からクリスマスまで、4本のローソクを立て、日曜ごとに1本ずつ点火

ミサ用の花は 祈りと共に

メンバー募集中!

高尾さん

お花を生ける時間に 神を賛美する時間を フォウス

朗読 聖書 読む

祈り

黙想

神への賛美と感謝のシンボル

神にむけて 美+みことばの神楽

見る人の心

8月 聖母の被昇天のみ あとは鉢植などおす。

枝の主日 (受難の主日) シロの枝

結婚式の お花も(ごん) 生け込もことも

お幸せをお祈りつ

雑念も

手に持つとこを飾る

イストルポ

丹さん (代表)

典=ツミ 書 礼(禮)=示す 豊かさ

神の国の豊かさを指し示す 役割が 典礼と祭儀

恐れる心は ない

イストルポ

イストルポ

イストルポ

教会活動の一助に

町田教会活動名簿  
運営委員 橋村 元雄



活動名簿、活用していただいていますか。

二〇〇三年に前版の「カトリック町田教会活動名簿」が発行されて八年後に、やっと改訂版を皆さんにお届けでき、ほっとしています。

活動名簿の発行につきまして、雷の子に投稿できる機会を頂戴しましたので、発行までの経緯と、活動名簿の利用に際し改めてのお願い、そして今後の活動名簿の方向性についてお話しさせて頂きます。二〇〇八年頃、高木神父から改訂版を作成しようとお話があり、修正作業を始め、二〇〇九年にはほぼ目処がつき、信徒の皆さんに名簿発行のお知らせと名簿への記載を確認するためのハガキを出しました。この頃には田中神父にもお手伝い頂き、皆さんのご希望内容を整理しておりました。ここまでは順調に進んでいたのですが、この後に大アクシデント、データを

保存していたパソコンにトラブルが発生し、データが消えてしまったのです。二重にデータを保存はしていたのですが、この時もう少し適切な措置をとっていればデータを救済できたかもしれないと反省し、現在はこうしたトラブルに遭わないようリスク管理をしております。トラブルの復旧にほぼ半年をかけて、システム開発者の山田氏と財務委員とで何とか復元し、本年六月に活動名簿の原稿を完成させることができました。

苦勞しましたのは、返信のない方を含め七つのパターンに約九〇〇世帯を区別することでした。今後の課題です。

また、整理された課題もあります。転入・転出・転居・出生・帰天の異動を届けて頂いていますが、これまで適時に名簿管理に反映されていませんでした。このたび、小池神父、受付の皆さんと協議し、届出の処理の流れを整備しましたので、今後は速やかに変更していきます。

次に、皆さんへお願いです。ご承知の通り、活動名簿は個人情報のお宝庫です。かつて教会活動以外に利用されたことがあり、教会としてリスクと利便性を考慮しながら管理しなければいけません。現実的には皆さんに取り扱い

にご留意頂くことをお願いするしか術がありません。

最後に、今後の活動名簿についてお話しします。今般の活動名簿に十数名の方から訂正のお申し出がありましたので、修正一覧を来年一月頃に出したと考えております。また、次の改訂版は、運営委員会での決定により対応していきたいと考えております。

震災後のバザー

バザー実行委員会 荻島 崇

今年三月東日本を襲った大震災は、特に東北地方に甚大な被害をもたらしました。町田教会で十月三十日に開かれ

たバザーでは、準備の段階から、そしてバザーの当日も、大震災の復興のために少しでも役に立てればという願いを皆心に持っていたと思います。私は今までバザーではお話しするような物を一つ二つ食べ、食べ終わるとさっさと教会を後にするというのが、バザー無関心人間の代表的存在でした。ですから、バザーでいくらか収益があつてということも全然知らないで過ごしてきました。そんな私がどうしたことが、今年バザーの責任者になつてしまいました。責任者になると、今までのようにバザーに無関心でいる

ワンポイント聖書

十戒・その五

あなたの父母を敬え。あなたの神、主が命じられたとおりに。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生き、幸いを得る。(申命記5章16)

十戒は、「二枚の石の板」に書かれていた(5章22)と聖書は語ります。

なぜ、二枚の板なのでしょう。前半の五条が神に対する掟、後半の五つが隣人に対するものと、分けられているためです。そこで疑問が生じます。

「父母を敬え」という掟、これがなぜ、人間に対するだけではなく、神に対する掟として扱われているのでしょうか?

(184)

前島 誠

「敬う」をヘブライ語で「キバド」と言い、「重くする、敬う、(御馳走で)もてなす」という意味で使用される動詞でした。人間に対してだけではなく、神を「あがめる」という場合にも使われます。

「この教えは大人に対して与えられた子供にはない。老いた両親を大切にしよう」という、ユダヤの教えである。かつて神学校の講義中、H・クルーゼ師が言われた言葉、半世紀を過ぎた今も耳の奥に残っています。

この第五戒は、次のように結ばれます。「あなたの父母を敬え。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生き、幸いを得る」





わけにはいきません。準備の段階からいろいろなることを目にし、耳にすることになりました。バザーの時、前庭にテントが立っているのは、ごく当たり前の風景で、誰が立てたのだろうかなどと考えたこともありませんでした。今回はそのテントを立てる手伝いをしました。多くの男性が声を合わせ力を合わせて、鉄骨に指をはさむ危険を避けながら組み立てていきました。こんなに多くの人の労力の結果テントが立っているのだ、と初めて知りました。

これはほんの一例で、気をつけて見ると、目立つ所での準備だけでなく、目立たない所でこつこつと準備をしている人達がたくさんいるということがわかってきました。バザーはこうした人達の努力の



福島の里山ガーデンファームの野菜販売

結果だったのです。今までのバザーに詳しくなかった信者の方から聞いた話ですが、このところ町田教会のバザーは少しマンネリ化の傾向にあったそうです。ですが、今年のバザーは東北の人達のためにという気持ちが表面に現れていて、とても活気があったとのことでした。一例として福島県の二本松からの野菜が2時間という他の教会では例を見ない早さでの完売だったことが上げられるでしょうか。

バザーのためにこつこつと準備をして下さった多くの方達に心から感謝します。未曾有の大災害に比べれば、町田教会のバザー収益金など僅かなものでしょうが、家族や家を失った多くの方達の復興に少しでも役に立てば幸いです。

「雷の子」次号編集会議予定  
1月22日(日)09時30分  
於会議室  
編集スタッフ募集  
「雷の子」の編集スタッフを募集しています。性別、年齢、経験の有無を問いません。教会の広報および機関紙編集に興味のある方、ぜひご参加下さい。

犠牲献金	
中高生会	
10月2日	13,285円 (ペロニカ苑へ)
11月6日	14,852円 (ペロニカ苑へ)
12月4日	5,060円 (ペロニカ苑へ)



バザー 収支報告	
収益金	522,312円
(用途)	
東日本大震災復興支援寄金	366,000円
(カトリック仙台教区へ)	
建設・営繕積立献金	156,312円

## 信者動静

2011年8月~11月  
(個人情報のため、削除しています)

**クリスマスと年始のミサ**

☆クリスマスのミサ

イブ(24日)のミサ前にミニコンサートを行います	12月24日(土)	17:00 19:30 22:00
	12月25日(日)	7:30 10:30

年始のミサ1月1日(日) 00:00  
12月31日(土) 18:30ミサはありません